

医療従事者確保のための現地見学会について(東京都からの質問)

参考資料8②

【当該補助事業を実施した町村】

対象町村数	3
-------	---

回答町村数	3
-------	---

(1) 現地見学会による看護師の確保実績及び効果

	確保			効果		
	①繋がった	②繋がらなかった	③その他	①有り	②無し	③その他
回答数	2	1	0	3	0	0
割合	67%	33%	0%	100%	0%	0%

<回答理由>

	確保	効果
大島町	今のところはいない	見学してもらうことによって口コミは広がる。島外で看護師経験を積み、将来「大島へ」ということも充分期待できる。
三宅村	H28参加者についてH29.4.1付で1名採用	H28参加者についてH29.4.1付で1名採用
小笠原村	9名の参加者のうち2名採用した	採用に繋がった

(2) 現地見学会の実施に当たり実施方法等で工夫した点、苦労した点

	工夫した点	苦労した点
大島町	島の実情を説明。また島内観光をしながら各商店の場所などを案内。	(無回答)
三宅村	日付指定のツアー型(3名参加)と指定なしのフリー型(4名参加)の双方を実施	特になし
小笠原村	施設・島内見学だけではなく、現在従事している職員とのディスカッションを実施	特になし

(3) 現地見学会の参加者で採用に至らなかった方への、今後の募集案内の送付予定

<回答数>

	①予定有	②予定無	③検討中
回答数	1	2	0
割合	33%	67%	0%

<回答理由>

	回答理由
大島町	HPに記載。連絡を待っている状況。将来に期待している。
小笠原村	求人が出た場合には、募集案内を送る予定。

【当該補助事業を実施しなかった町村】

(4) 現地見学会及び当該補助事業を実施しなかった理由（アンケートの質問番号(1)）

対象町村数	8
-------	---

回答町村数	7
-------	---

	①必要無し	②〇〇不足			③その他	
		該当数	人手	費用		時間
回答数	2	5	3	3	2	1
割合	25%	63%	38%	38%	25%	13%

<その他> ・村施設が見学に適さなかった

<回答理由>

	回答理由
a	現在のところ、看護職員が充足しているため、未実施となりました。
b	看護師職員の受け入れの為に必要な施設が不十分であったため。現在見学会を行うことが、適切でなかった。 看護師及び職員等の住宅は、社宅等の集合住宅でなく、2世帯分が1棟となった住宅が、島の各所に点在しており、看護師等職員の採用時に空いている住宅に入居してもらっています。 住宅によっては、古く改修が必要な住宅もあり、また、職員分の住宅が、全て充足しているわけではないので、民間の住宅を借りている場合もあるため、生活の上で必要な衣食住の住の部分で、見学に不向きと判断し事業実施を行わなかった。
c	実施するための人手・費用・時間が無かった
d	次年度以降で検討中

【全町村共通】

(5) 次年度以降の現地見学会の実施意向（複数回答）（アンケートの質問番号（4）又は(2)）

対象町村数	11
-------	----

回答町村数	11
-------	----

	回答町村数	①都補助あれば実施したい	②都補助が無くても実施する	③実施しない	④内容が変われば実施したい	⑤その他
H28実施町村	3	3	0	0	2	0
	100%	100%	0%	0%	67%	0%
未実施町村	8	0	0	4	3	1
	100%	0%	0%	50%	38%	13%
計	11	3	0	4	5	1
	100%	27%	0%	36%	45%	9%

<その他> ・事業実施に必要な条件がそろえば実施したい

<回答理由>

	回答理由
a	現在のところ、看護職員は充足しているため、実施予定はないが、今後薬剤師や技師等にも対象範囲を広げてほしい。
b	見学に必要な住宅等の施設が整った場合実施したい
d	次年度以降で検討中
e	専門職の高齢化が進んでおり今後も引き続き人材不足が予想されるため
f	対象職種を増やしてほしい
g	今のところ必要性がないため

※(5)の質問で④と回答した町村

(6) 補助事業の変更希望(複数回答) (アンケートの質問番号(5)又は(3))

対象町村数	5	回答町村数	4
-------	---	-------	---

	①補助額増	②補助率増	③対象経費増	④その他
該当数	2	3	0	2
割合	40%	60%	0%	40%

<その他> ・対象職種の拡大(2町村とも)

<回答理由>

	回答理由
d	次年度以降で検討中

※(5)の質問で④と回答した町村

(7) 拡大を希望する対象職種(複数回答可) (アンケートの質問番号(6)又は(4))

対象町村数	5	回答町村数	4
-------	---	-------	---

	①薬剤師	②放射線技師	③臨床工学技士	④臨床検査技師	⑤理学療法士	⑥その他
回答数	4	4	3	3	3	2
割合	80%	80%	60%	60%	60%	40%

<その他> ・栄養士、介護福祉士
・全職種

<回答理由>

	回答理由
a	現在のところ、充足しているが、地元の方ではないので、いつまで勤務してくれるか不安な面もある。
e	全職種ともに高齢化・島外出身者のため、常に不足のリスクがあるため。

(8) 都又は町村が現地見学会以外にどのようなことができれば、医療従事者の確保に繋がるとお考えですか。(アンケートの質問番号(7)又は(5))

	回答
a	長期的確保はもとより、短期的な補充(産休・育休など)についても大変苦慮している現状がある。医療従事者専門の派遣会社等も利用したいと考えるが、人材が見つからない、また、見つかったとしても高額な経費が生じる。やむを得ず、派遣会社等を利用した場合についての財政支援制度があれば、町村自治体として負担軽減につながると考えます。
d	都内での看護師就職説明会(新卒者以外向け)の開催
f	他医療機関との相互研修体制の充実
g	医師派遣等の協力病院の支援、充実・休暇、研修日の確保など勤務環境の整備
h	島しょ就労希望登録制度等の構築など、島しょで働きたい方を集約し、登録・紹介等する機関創設。他業務で紹介会社から、「島で働きたい希望のある方があります。」と連絡があった。

8 へき地医療支援機構について(東京都からの質問)

へき地医療機構として、無料職業紹介事業の他に医療従事者確保等のため、取り組んでほしいことはありますか。

	回答
a	医師及び看護師以外の職種(薬剤師・技師)についての派遣業務があれば助かります。
b	1人の透析技師で透析事業を行っているが、担当の透析技師が数日間不在となった場合。替りの業務をできる者が居なくて、透析技師の確保に苦慮しております。 短期的な欠員についての穴埋めとして、医師・看護師に係る医療従事者の確保については、色々な方法がありますが、レントゲン技師・透析技師等の短期の応援等を依頼したい場合、専門職の数日間応援依頼できるシステムを構築してほしい。
e	意見無し
h	前項 (5)質問回答の通り
i	現在のところ、大学病院からの派遣医師(5名)を確保できているため特段ありません。